

「全校朝読25年目突入！ 継続は力なり」

1 学校の概要

- ① 福島県石川郡石川町字高田200-1
- ② 6クラス 180名（令和4年5月1日現在）
- ③ 図書蔵書数 28,929（令和4年5月1日現在）

2 読書活動推進の取組内容

① 図書館の環境整備

- ・ 新刊案内など、生徒への周知を徹底している。（写真①②）
→新刊本は、図書館情報として掲示や毎月発行の図書館だより、新刊情報などを掲示し興味を持たせる工夫をしている。また、新刊本やおすすめ本は常に取りやすい場所に設置し定着した場所になっている。
- ・ 映像された話題の本やみんなどんな本を借りているのか？などをランキングにして掲示をした。
→シリーズで設置・ランキング本の紹介をすることにより読書意欲が上がるよう工夫した。
- ・ 季節を感じさせるよう出入口など飾り付けや掲示など図書館への利用につなげる工夫をしている。

写真①



写真②



② 「朝の読書活動」について

本校は県内でもいち早く「朝の読書活動」に取り組んでおり、今年度で25年目となった。

- ① 好きな本を読む
- ② 毎日読む
- ③ みんなで読む
- ④ ただ読むだけ

本校の「朝読」は、上記の「朝読4原則」に従い、朝のSHR後の8時40分～50分までの10分間、各クラスで担任も一緒に読書をしている。

本を忘れたり選ぶのに悩んだりする生徒もいるため、各クラスに「朝読ボックス」を配置し、生徒が必ず本を手にとることができる環境を整えている。ボックスには、話題の本だけでなく、詩集やエッセイ、新書なども取り入れ関心を持つような作品を10冊ずつ選定し、学期ごとに作品の入れ替えを行っている。

毎年、独自に全校生徒を対象とした朝読アンケートを実施している。昨年度の結果は、集中力が上がった（33%）、心が落ち着く（29%）と朝読を通して効果を感じているようだ。次には読むスピードが速くなった、読書の楽しさがわかったなど（21%）となっている。

③ ビブリオバトル参加

ビブリオバトル福島県中通り地区大会に参加した。

福島県地区大会については、2年生選択科目の「国語表現」で実施した「読書紹介」の授業から2年生女子1名を代表者として選出した。

決勝には進めなかったが、年度末発行の「図書館報」にも体験記を依頼し、全校生徒へビブリオバトルを周知する機会とした。

④ 図書館だより（全生徒・教職員へ配布）

- 毎月、図書委員のお勧めの本の紹介、各科の先生の「高校生に読んで欲しい本」の紹介を掲載している。本への思い入れなどのエピソードを交えながら紹介していただき、充実した内容になっている。
- 新刊や寄贈本など、図書館だより発行以外にも増刊号や裏面に紹介し配布をしている。



- 「図書館だより」と「図書館報」それぞれで、図書委員を始めとする生徒及び図書部以外の先生方に多く携わっていただく機会を作ることを心掛けた。

⑤ その他

朝読ボックスの点検・図書館だよりの作成・図書館報など図書委員の活動が主となっているが、今後も館内のレイアウトなども活動の一環として定期的に製作し、情報発信にも力を入れたい。また、朝読ボックスの選定を図書委員にってもらうことも今後考えていきたい。